



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2025～2026 年度 高山中央 RC 会長テーマ

親睦・学び・成長・奉仕 ～地区と地域の未来を考えて～

よいことの
ために
手を取りあおう



◆会長 都竹 太志 ◆幹事 井ノ下 雄志 ◆会報委員長 今井 哲也 ◆会報担当 前越 路子

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1ー2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1406 回	56 名	56 名	42 名	——	75.00%
前々回 1404 回	56 名	56 名	31 名	5 名	64.29%

●点 鐘

●ロータリーソング 我らの生業

●高山中央ロータリークラブ職業倫理基準

●ビジター・ゲストの紹介

Mこころクリニック

院長 垣内 無一 様

●会長の時間

会長 都竹 太志

皆さん、こんにちは。

朝夕に秋の気配が漂い始め、
少しずつ空気も涼しく感じら
れるようになってきました。

読書の秋、スポーツの秋、そし
て学びの秋——皆さんにとっ
て、今年の秋はどんな秋にな
るでしょうか。そんな中、本日

も例会にご参加いただきありが
とうございます。
ロータリーでは、9 月を「基本的
教育と識字率向上月間」、そし
て「ロータリーの友月間」と定
めています。今月は、教育と識
字の大切さ、そしてそれに関
する私たちの関わりについて、
少し考えてみたいと思います。

先日、岐阜市に行く機会があり、
たまたま訪れた市の大きな図
書館で、非常に多くの蔵書や設
備の充実ぶりに感動しました。
館内では子どもから高齢者ま
で、多くの人々が静かに本を手
に取り、それぞれが学びの時
間を過ごしていました。その光
景を目にし、日本には、誰も
が自由に学ぶことができる環
境があることを、改めて実感
しました。

今の日本では、一部の地域の
高校では無償化されており、
経済的な事情で進学を諦める
というケースも、少しずつ減っ
てきています。一方で、全国
の大学の半数以上が定員に満
たず、入学のハードルは年々
下がってきています。それにも
関わらず、大学の図書館には
膨大な蔵書があり、学ぼうと
する人には十分すぎるほどの
学びの機会と環境が整ってい
ます。



それは大学だけではありません。
日本には、美術館、水族館、
動物園、科学館といった、学
びにつながる施設が数多くあ
ります。これらは単なる観光施
設ではなく、実際に目で見て
触れて学ぶことのできる「生
きた教室」です。家族連れが訪
れ、子どもたちが驚きや発見
を体験する場であると同時に、
大人にとっても知識と感性を
養う貴重な場所です。
このように、日本では日常の
中に「学びの場」が豊富にあり、
学校教育だけでなく、社会全
体が「学ぶこと」を支える仕
組みを持っています。これほど
学びに恵まれた環境は、世界
的に見ても決して当たり前では
ありません。

ユネスコの報告によれば、今
なお 15 歳以上で読み書きが
できない人は世界に 7 億 8,100
万人もいます。これは全人口の
約 17%に相当します。また、
学校に通うことができない子
どもは 5,800 万人にのぼります。
その多くは、教育施設の不足、
紛争の影響、女性差別など、
さまざまな困難を抱える開
発途上国に集中しています。

教育は、人が自立して生きてい
くための力です。文字を読める
だけで、医療情報や行政手続
きに対応でき、生活の選択肢
が広がります。就職の機会も
増え、将来への希望を持てる
ようになります。さらに、教
育を受けた人が多くいる地域
では、衛生や環境、インフラ
整備への理解が深まり、地域
全体の生活水準が向上してい
きます。

この「教育 → 理解 → 行動 → 変
化」という流れは、ロータリー
が長年取り組んできたポリオ
撲滅運動にも深く関係してい
ます。ワクチンの重要性を理
解し、正しい医療行動を取っ
てもらうには、教育と識字力
が欠かせません。情報を正し
く理解できる人が増えること
で、誤解や迷信に流されず、
予防接種の意義が社会に浸透
していくのです。

教育の力は、「母子の健康」に
もつながります。識字能力の
あるお母さんは、妊娠中や出
産後の注意点を理解し、母子
手帳や医師の指示に従うこと
が

できます。子どもの予防接種のスケジュールを守ることでもでき、子どもの健やかな成長を支えることができます。また、教育を受けた母親は、子どもにも教育を受けさせたいという意識が高く、地域全体の教育水準を押し上げていきます。

今月は「ロータリーの友月間」でもあります。『ロータリーの友』には、国内外のロータリークラブの活動事例が多数掲載されており、教育支援を含めた多くの奉仕のヒントが詰まっています。他クラブの取り組みを知ることで、私たち自身の活動の意義を見直す機会にもなります。

また近々、地区国際奉仕委員会より、ベトナム・ダナン地区での教育・保健支援に関するグローバル補助金プロジェクトの案内がある予定です。まさに、教育によって命を守り、未来を支える奉仕活動であり、私たちロータリアンが果たすべき大きな役割の一つだと感じています。

最後に今の日本において、学ぶ機会は多く、環境も整っています。しかし、その環境があることに「慣れてしまっている」部分が、私たちにはあるのかもしれない。図書館に行けば本があり、ネットで調べれば情報が得られる。高校や大学に進学する道も比較的開かれている。

だからこそ、「学べるということ」の価値を今一度見直し、感謝の心を持って、自ら学び続ける姿勢を大切にしていきたいと思います。そしてその学びを、自分だけにとどめず、少しでも誰かのために活かしていく—それが、ロータリアンとしての私たちの使命であると感じながら、今後の行動に役立てていきたいと思います。

本日もご清聴、ありがとうございました。

●幹事報告 幹事 井ノ下 雄志

◎国際ロータリー第 2630 地区
ガバナー事務所より

- ・ザ・ロータリアン誌
- ・2026-27 年度 R I 会長について
- ・オンラインカ・ハキーム・パバ
ロー氏

(ナイジェリア・トランス・アマディ・ロータリークラブ所属)

- ・ポリオ根絶活動投稿のお願い(ロータリーの友)
- ・R I 日本事務局財団室ニュース
- ・2026 年台北国際大会について
- ・標準クラブ定款等の改正について
- ・メジャードナー顕彰午餐会のご案内
- ・バギオだより

○ロータリー米山記念奨学会より

- ・ハイライトよねやま 306

○米山梅吉記念館より

・館報 2025 秋号

(賛助会ご入会のお願い・秋季例祭について)

○高山ロータリークラブより

- ・創立 70 周年記念式典および祝宴の招待状

11 月 20 日 (木) 15:00~

ホテルアソシア高山リゾート

○高山西ロータリークラブより

- ・例会変更のお知らせ

9 月 12 日 (金) 12:30~

高山 3RC 合同例会のため ひだホテルプラザ

<国際ソロプチミスト高山より>

- ・高山新事務所のご案内

〒506-0054 高山市岡本町 4-1-31 田近 薫

<高山市青少年育成市民会議より>

- ・活動助成金の申請につて

- ・「家族スナップ写真展」

「家庭の日図画・ポスター展」後援名義使用について

<飛騨高山国際協会より>

- ・ルーマニア・シビウ市 キリヤック監督等の来訪に伴う歓迎交流会開催のご案内

<会報>

- ・下呂 RC

●会員 3 分間スピーチ

田中 由泰



●青少年奉仕委員会 委員長 益田 大輔

<卓話>

Mこころクリニック

院長 垣内 無一 様

子どものメンタルヘルスと高山市における不登校対策

1. 子どものメンタルヘルスの現状

こころを病む子どもが増加
(学歴・成果主義社会の影響、過干渉・情緒的ネグレクトなど)

社会背景：7人に1人が貧困(約260万人)、ひとり親家庭・家庭内暴力・離婚増加、面前DV・心理的虐待の増加

2. 子どもを取り巻く多様な問題

発達障害の増加(過去27年で約87倍)

いじめ・自殺・不登校の急増(特にコロナ禍以降)

3. 高山市の現状と取り組み

欠席30日以上の子供生徒が増加

令和6年4月：学びの多様化教室「にじ色」開設

4. 高山市中心のスクール検討委員会

目的：不登校児童生徒への支援助言・医療連携

構成：調査部門・ケース部門・広報部門

活動：実態調査、カンファレンス、勉強会、リーフレット作成

5. 不登校実態調査(R6年度)

対象：市内全小中学校、新規不登校者124名(小46・中78)

4月に発生集中、6月に欠席ピーク(慢性化傾向)

背景因子：学業不振、家庭内問題、基礎疾患、対人関係など

6. 医療との連携状況

医療受診率：52.5%

支援が必要とされた児童生徒：36.4%

医療受診済でも支援が必要な児童生徒：67.4%

7. 今後の展望

データに基づく早期対応システムの確立

カンファレンスの質向上(本人・家族の納得度を指標に)

家庭・本人の声を取り入れた支援

医療と教育の橋渡し強化

地域啓発・人材育成、全国発信(高山モデル)

8. まとめ

“調査とデータを活かした早期支援”

“医療と教育の橋渡し役”

“全国に誇れるモデルづくり”



<9月のお祝い>

<会員誕生日>

下田 徳彦	S 4 2 年	9 月	4 日
中田 一男	S 2 3 年	9 月	9 日
平林 英一	S 2 6 年	9 月	1 6 日
内田 茂	S 2 6 年	9 月	2 1 日
三枝 祥一	S 2 5 年	9 月	2 5 日

<夫人誕生日>

中屋 出	千恵子	9 月	1 4 日
足立 常孝	加代子	9 月	1 5 日

<結婚記念日>

西田 智	H 9 年	9 月	2 0 日
都竹 太志	H 1 5 年	9 月	2 1 日
高木 純	S 6 1 年	9 月	2 7 日



<ニコニコ BOX>

垣内無一先生、本日は高山中央ロータリークラブの例会にお越し頂きありがとうございます。後ほどは卓話をよろしくお願い致します。

役員理事一同

本日は、Mこころクリニック 院長 垣内無一先生、お忙しい中お越し頂き感謝です。議会在13時再開にて僕はいませんが是非楽しんで下さい。

益田 大輔

無一君、本日はよろしくお祈いします。益田先生と高山市医師会を支えて下さい。

周 信夫

本日、出席率が良い事を祝いましてニコニコへ。今後も皆さん出席しましょう。

平林 英一

妻の誕生日にお花をありがとうございました。我が家にも花が咲きました。

中屋 出

昨日、YEG OB ゴルフコンペがありました。良い成績ではないですが飛び賞を頂きましたのでその一部を。

都竹 太志